

CONFIDENTIAL
再配布禁止



OpenCanvas Atelierの取組について

第三金融事業本部 e-ビジネス事業部 デジタル戦略室

-1-

FY2025を見据えて

FY2025の世界

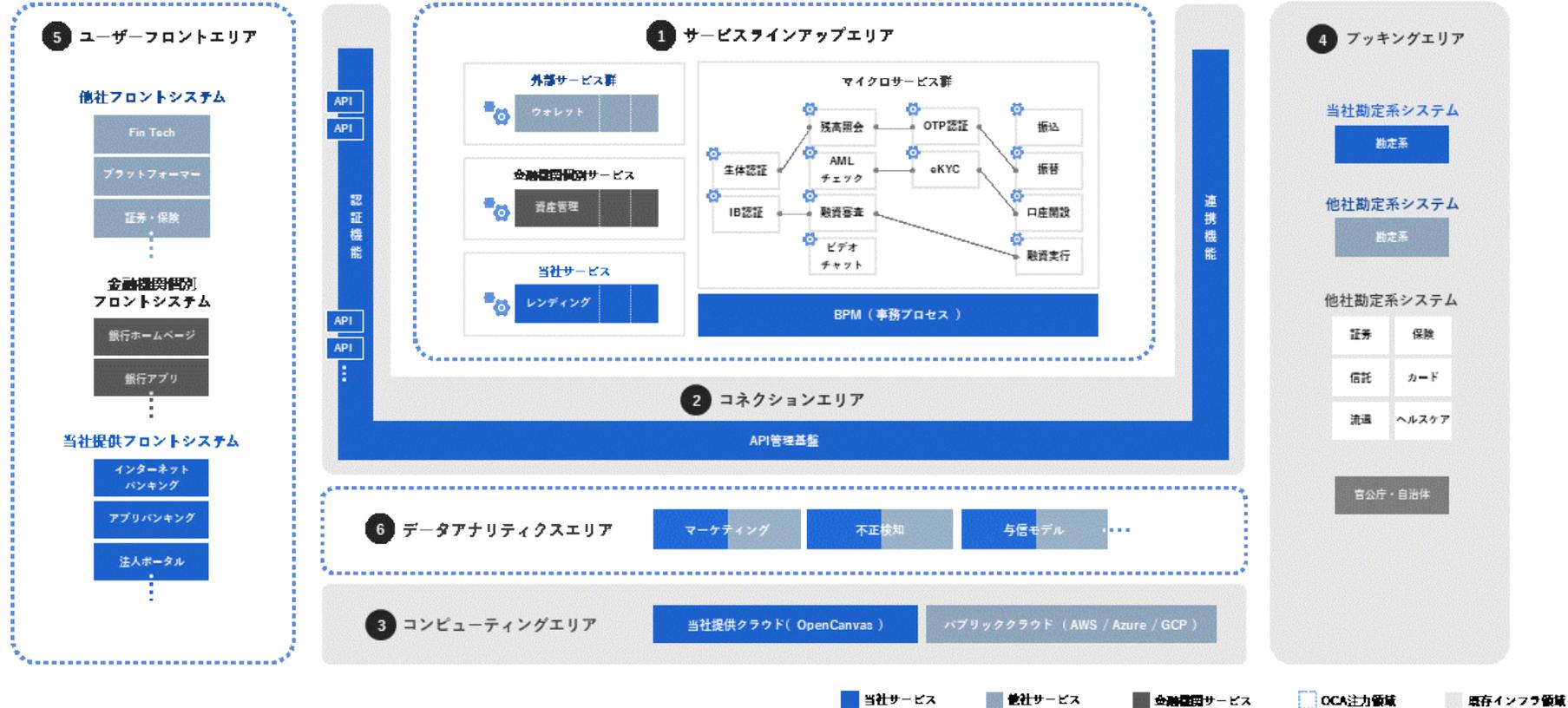
金融機関様のサービスはDXの進展によりマイクロサービス化が進んでいき、事業法人がマイクロサービスを利用して金融ソリューションを展開する世界が広がっていきます。



事業法人が必要な金融機能をご利用する、または金融機関様自身が自行の戦略に合わせて必要な機能を組み立てて提供可能とするようにマイクロサービスのラインナップを揃えておくことが必要と考えています。

金融ITの姿

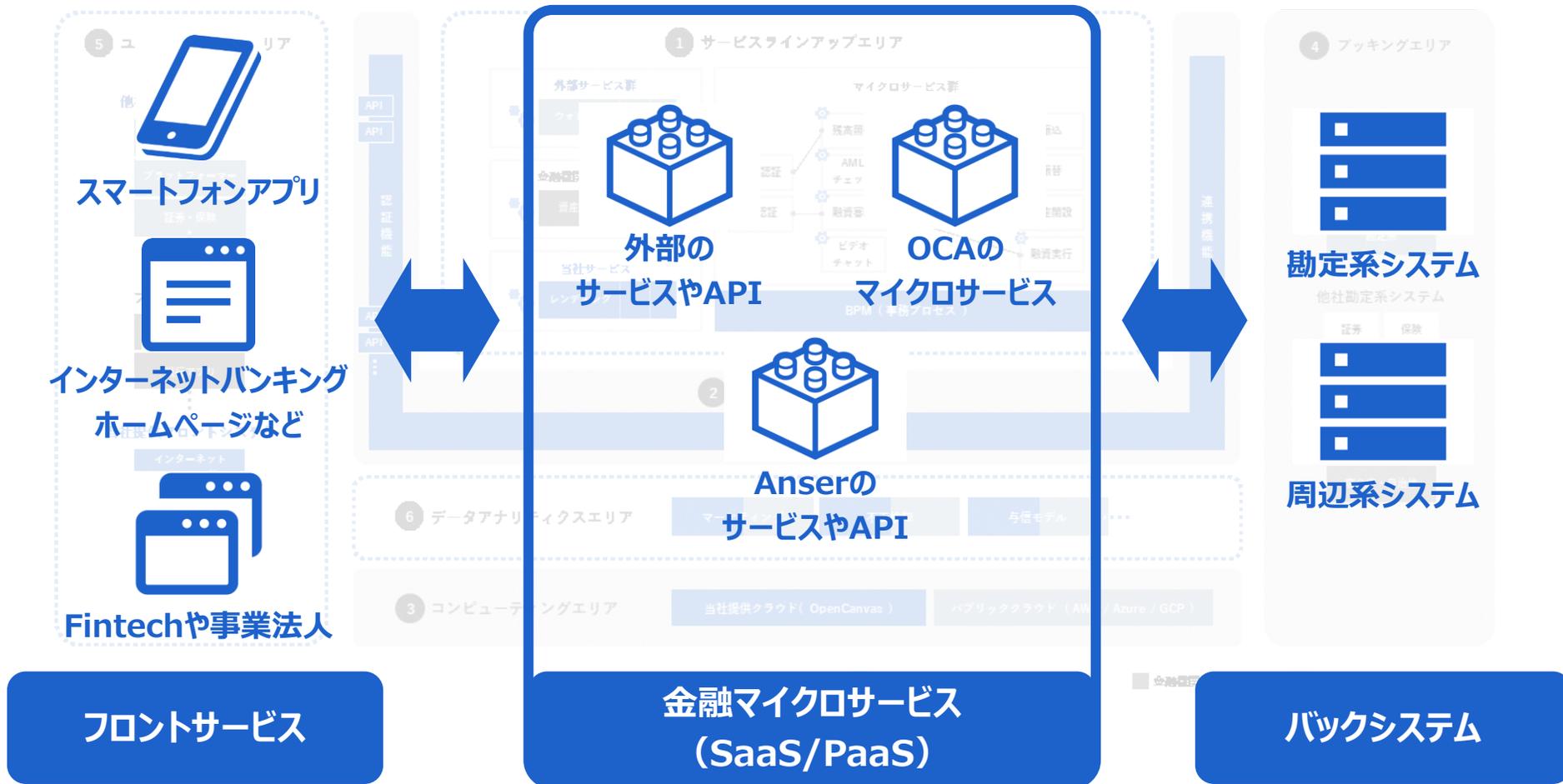
マイクロサービス化と利用が進んでいき、金融サービスプラットフォームはこのようなになっていきます。
(NTTデータが考える「Open Service Architecture」というものです。)



次ページにて、金融機関様のシステムに当てはめてみます。

狙いどころ

フロントサービスの価値提供、バックシステムの有効活用のためには、
「金融マイクロサービス (SaaS/PaaS) の創出・活用」がますます大事になっていきます。



-2-

OpenCanvas Atelierの目指すもの

OpenCanvas Atelierの概要

OpenCanvas Atelierは、「SAFe/Scrum（Agileプロセス）」を用います。
事業環境の変化に適応し、アジリティ高くサービスを創出するためです。



VUCA … Volatility 変動性・不安定さ / Uncertainty 不確実性・不確定さ / Complexity 複雑性 / Ambiguity 曖昧性・不明確さ

OpenCanvas Atelier 5つのポイント

UI/UX・Agileプロセスを前提として、最先端の開発環境・既存インフラ・3rdPartyを活用することで、お客様にとって「真に必要なサービス」を「アジリティ高く」創出します。

POINT 1

UI/UX活動



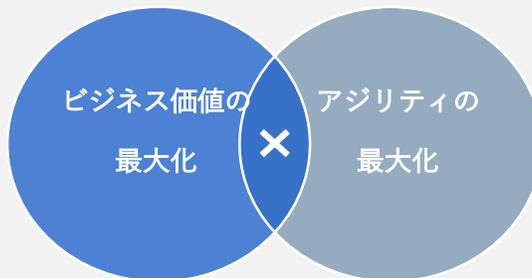
最適なUI/UX設計
(7つのステップ)



AtelierのUI/UX人材

POINT 2

SAFe(Scrum)による Agile開発

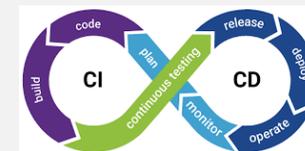


POINT 3

最先端の環境



Cloud



POINT 4 既存インフラとのシナジー



Anserの
各サービス

POINT 5 社内外との連携



Third party content

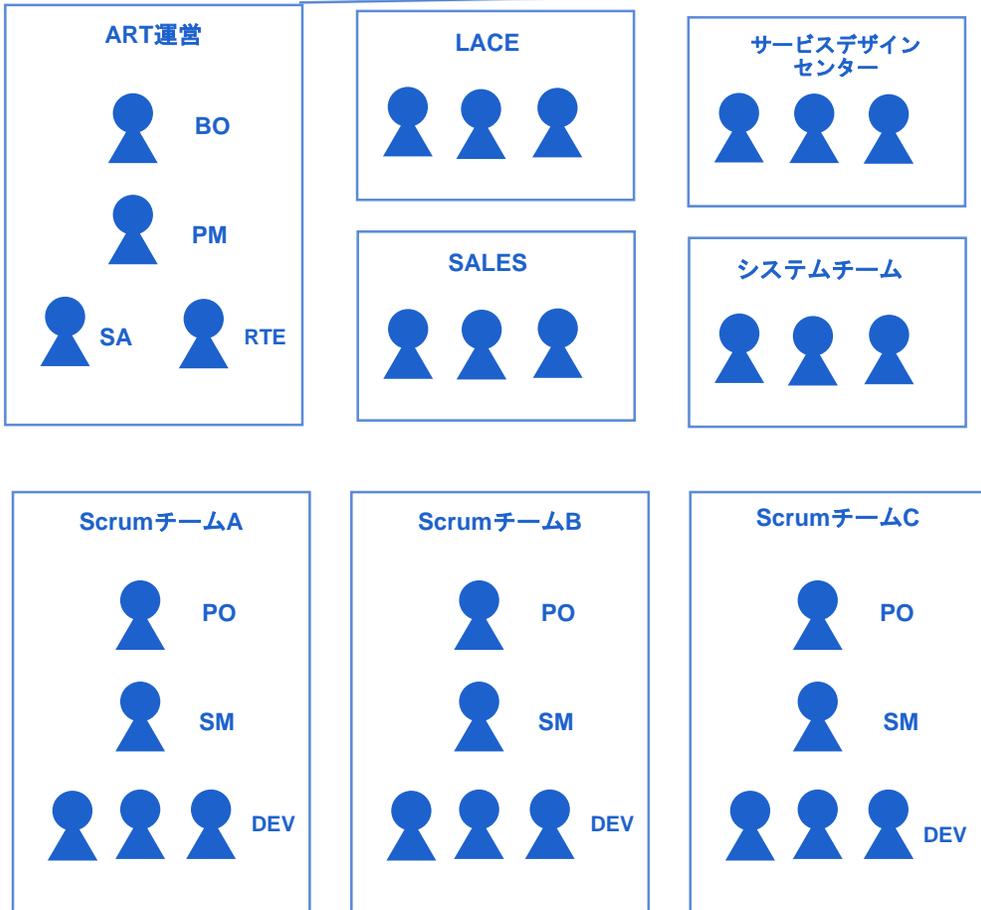
OpenCanvas Atelier 組織要員

組織要員は総数約120人(2022年06月時点)の専門家集団です。今後も拡大して、より多くのサービスをお届けします。



OpenCanvas Atelier 組織構成

OpenCanvas Atelierの各チームの構成は以下の通りです。
上段の運営/専門チームと下段のScrumで構成されています。



BO(Business Owner) :

ART (Agile Release Train) 上のビジネスの責任者

PM(Product Manager) :

ART上のチーフプロダクトオーナー、プロダクト開発の優先順位を設定

RTE(Release Train Engineer) :

ART上のチーフスクラムマスター、開発全体の方針整理、Scrum支援
RTEの有資格者が担当

SA(System Architect) :

ARTを構成するAgileチームに対して、アーキテクチャのガイダンスと
技術的なサポートを行う

LACE(Lean-Agile Center of Excellence) :

組織やチームに対してSAFeフレームワークを推進するチーム

SAFeコンサルタントが担当

SALES :

OCAで保有するアセットを販売するとともに新規ビジネスを企画

サービスデザインセンター :

UI/UXエキスパートのチーム横断組織 (後述)

システムチーム :

ARTにおいてプラットフォームやツールを提供することでテストやイ
ンテグレーションのサポートを行う

PO(Product Owner) :

ビジネス観点、UX観点、技術視点から、プロダクトの方向性を決める
舵取り役

SM(Scrum Master) :

Scrumプロセスの門番として、Scrumチームのプロセス遵守を促し、
チームの生産性向上のための改善を行う

DEV(Developer) :

開発者。クロスファンクショナル (職能横断的) な活動を行う

OpenCanvas Atelier デザインチーム

デザイン専門チームの「サービスデザインセンター」を有しています。
デザインの力で、お客様の困りごとを解決します。

サービス企画・開発

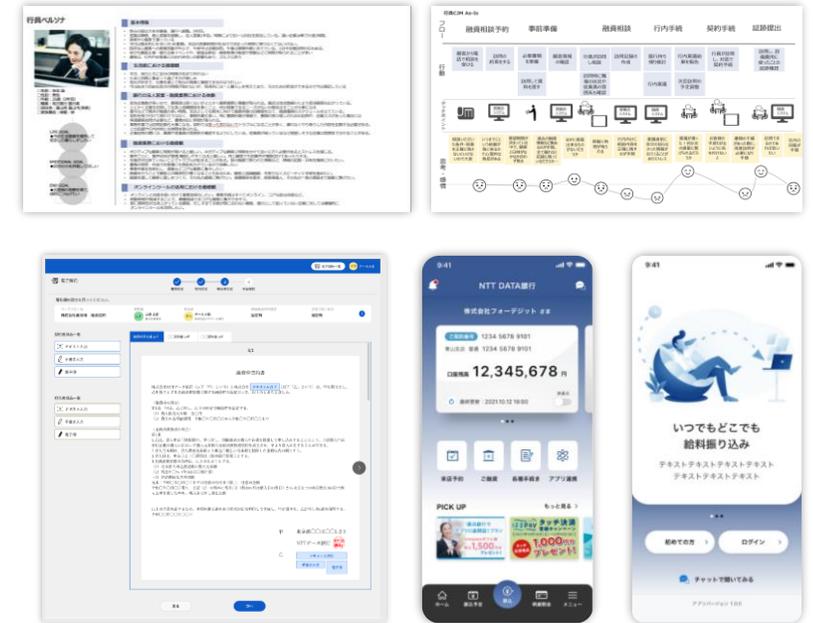
- デザインリサーチ
- アイデア創発
- コンセプト策定
- プロトタイピング
- ビジュアルデザイン

サービス改善

- ユーザーリサーチ
- 専門家評価
- UXのリデザイン
- UIのリデザイン

人財育成

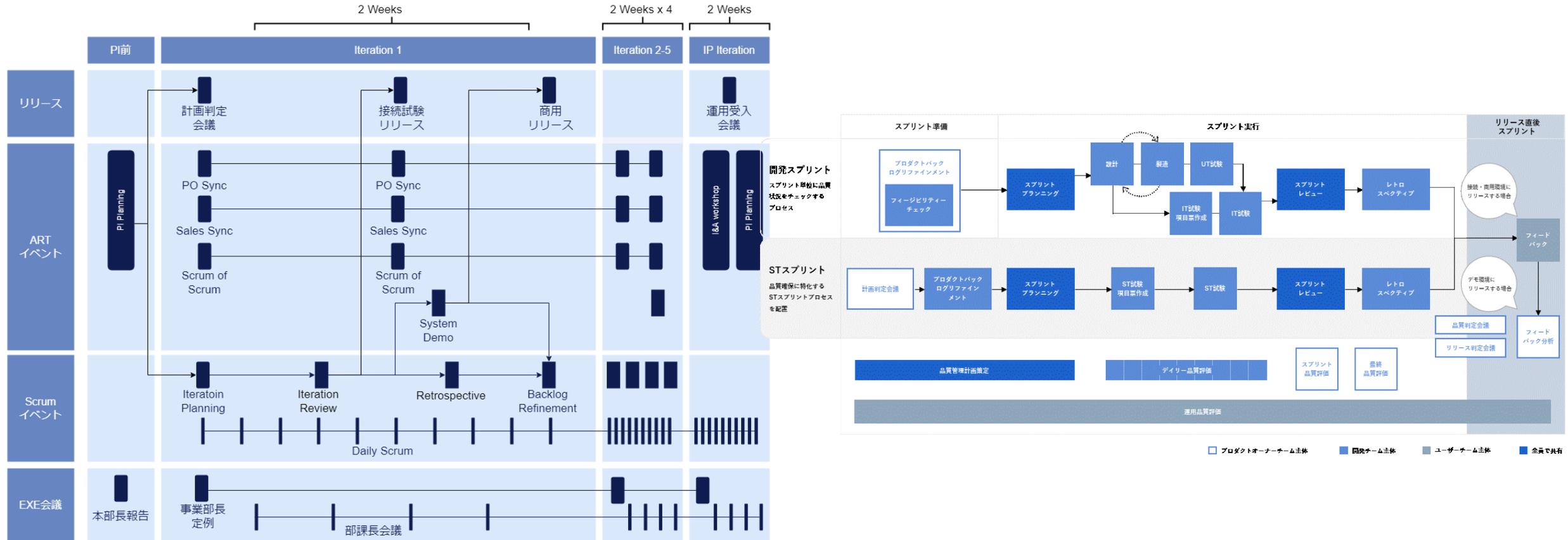
- 勉強会
- ワークショップ開催



略して「SDC」です。
ぜひデザインでも貢献させてください。

SAFe(Scrum)によるAgile開発

SAFeを適用し、担当全体は3ヶ月に1回のプランニングと振り返り、各Scrumは2週間に1回のプランニングと振り返りでOpenCanvas Atelierを運営しています。



(参考) SAFeプロセスの適用

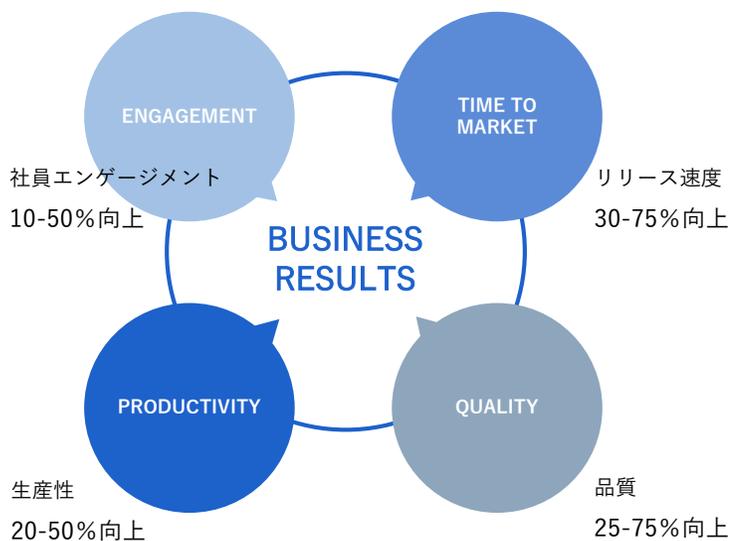
2021年10月よりSAFe (essential) プロセスの適用予定。 ビジネス価値向上を最大限に意識したAgile体制を組んでおります。

SAFeとは

- Scaled Agile, Inc.社が提唱する企業全体にリーン、アジャイル、DevOpsを展開する実証済みの大規模アジャイルフレームワーク。Scaled Agile Framework (SAFe)
- 2011年に1.0版がリリースされ、これまでに20,000社の導入実績と500,000人のSAFeプロフェッショナルを育成



SAFeの提供する 4つの価値



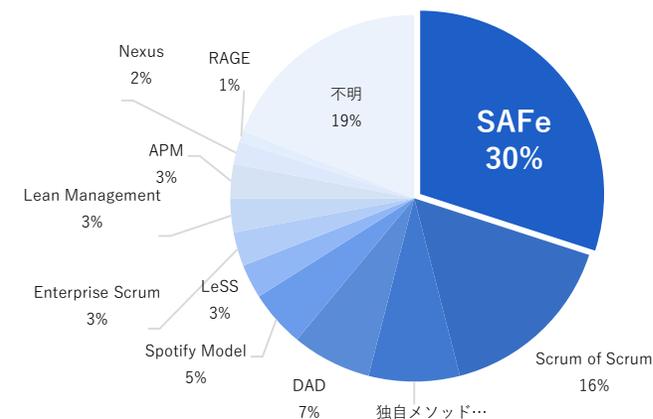
SAFe Training

SAFeのスキル評価や獲得のための
包括的なロールベースの公式カリキュラム



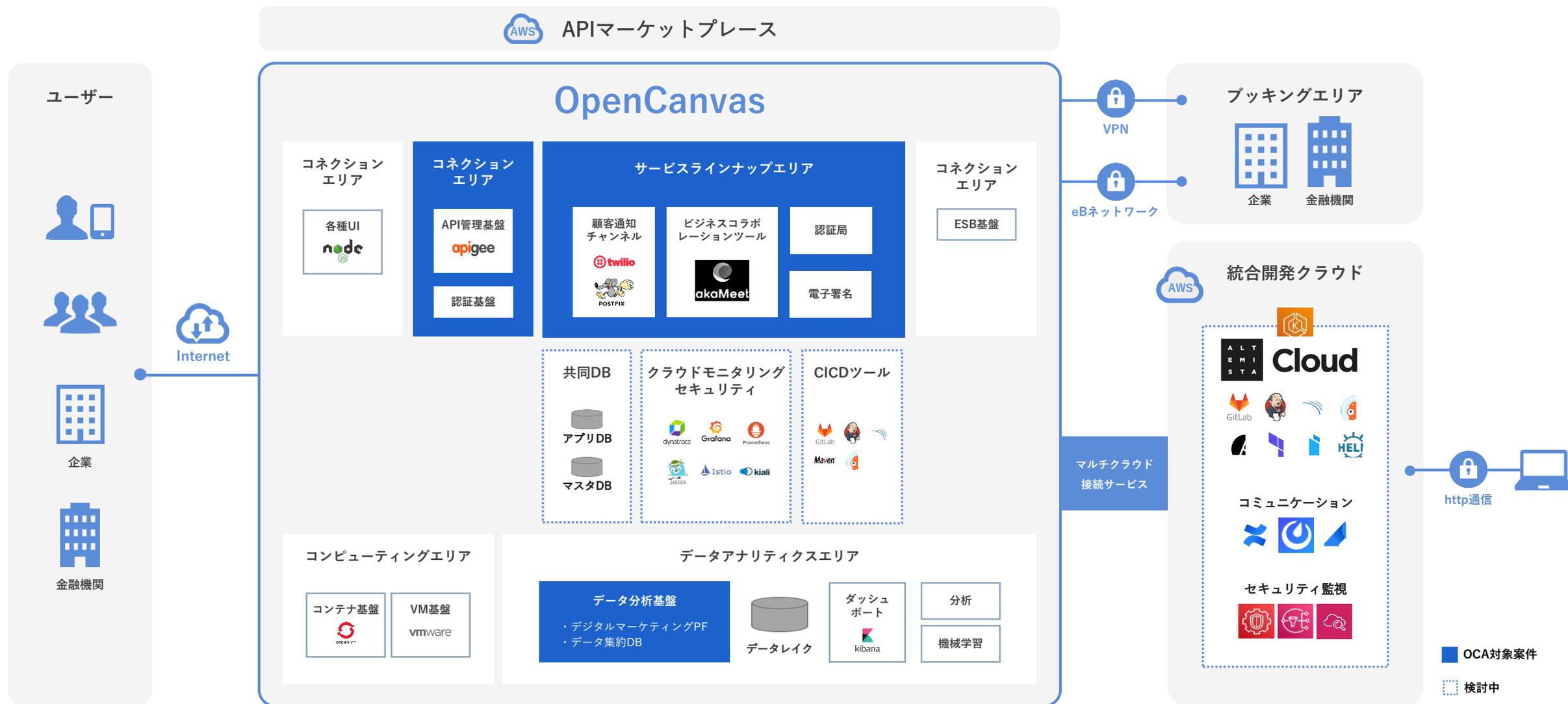
大規模Agileのデファクト

ヘルスケアから航空機業界まで、
あらゆるインダストリでの導入実績



※ FY2019 VersionOne13th annual STATE OF AGILE REPORT

OpenCanvas Atelierの環境構成

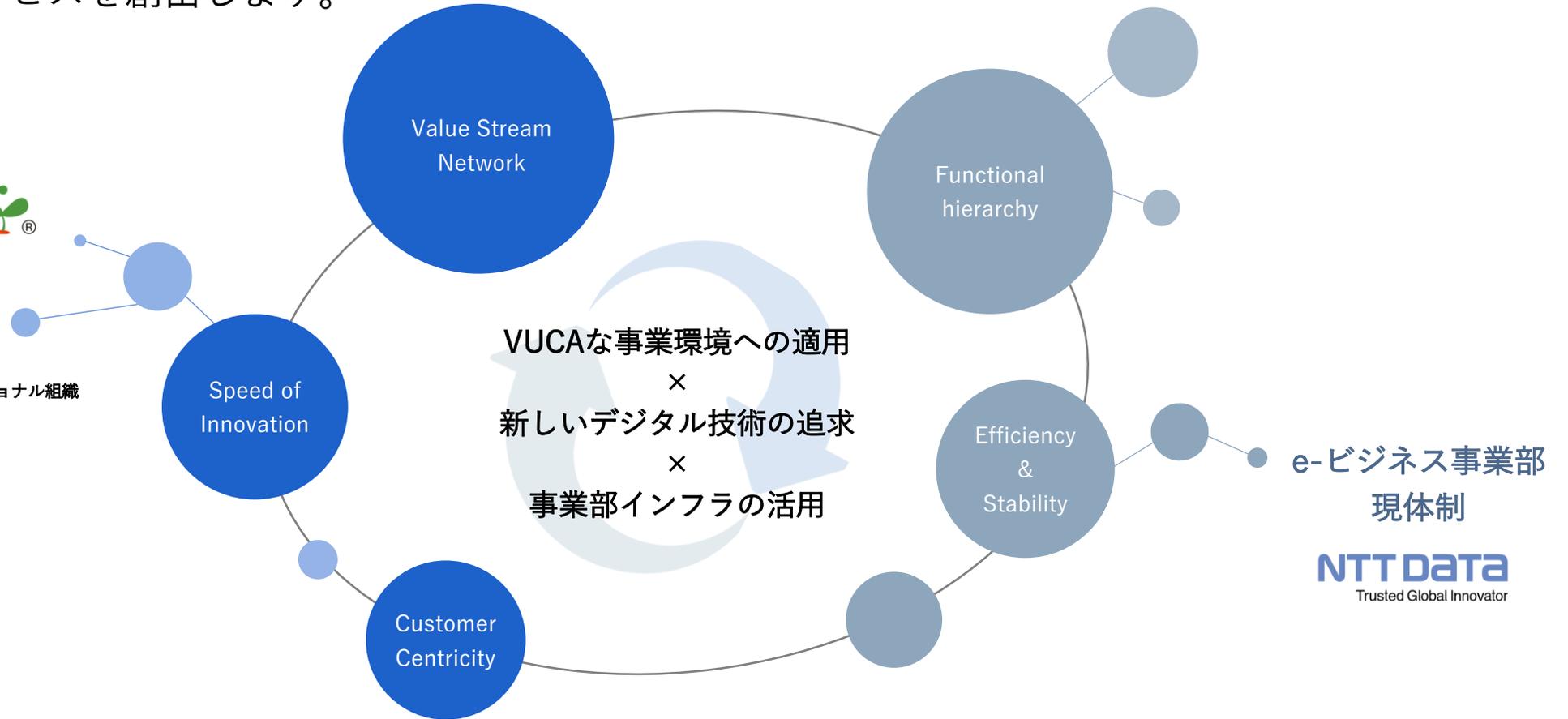


既存インフラの活用

NTTデータがこれまで培ってきた社会インフラ、オペレーションエクセレンスを積極的に活用し、弊社ならではのサービスを創出します。



VUCAな事業環境に適応する、
SAFe/Scrumを前提としたプロフェッショナル組織



[参考] Scaled Agile, Inc. SAFe®5.0で実現するビジネスアジリティ ホワイトペーパー-2020年2月

VUCA… Volatility 変動性・不安定さ / Uncertainty 不確実性・不確定さ / Complexity 複雑性 / Ambiguity 曖昧性・不明確さ

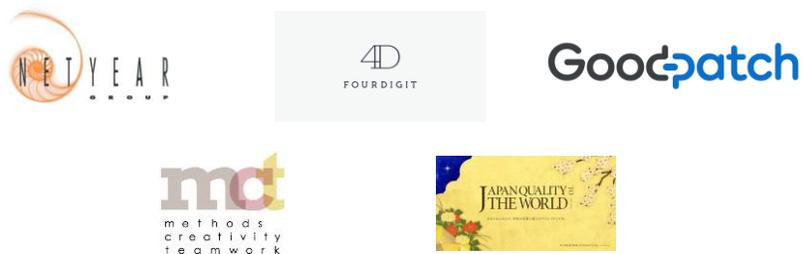
OpenCanvas Atelier 社内外連携パートナー

さらに社内外のパートナーとの連携により、「専門的かつ多領域の価値」をお客様へお届けします。

コンサル/リサーチ



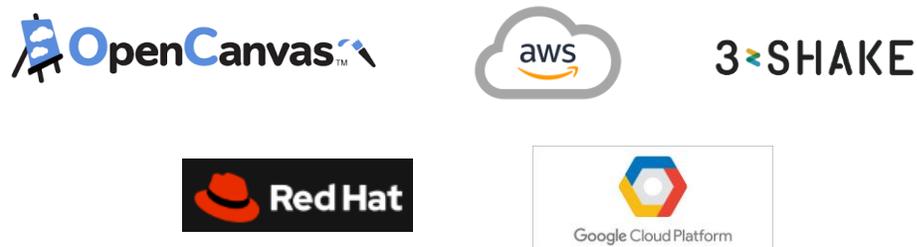
UI/UX



AI/データサイエンス



クラウド/コンテナ



ユーザー調査



クラウドソーシング



OpenCanvas Atelier オフィス紹介

オフィスも新たに立ち上げています。
現在はコロナ禍にてオン／オフラインを
意識しつつ利用しておりますが、
今後はお客様との「共創の場」としても
活用していきたいと考えています。



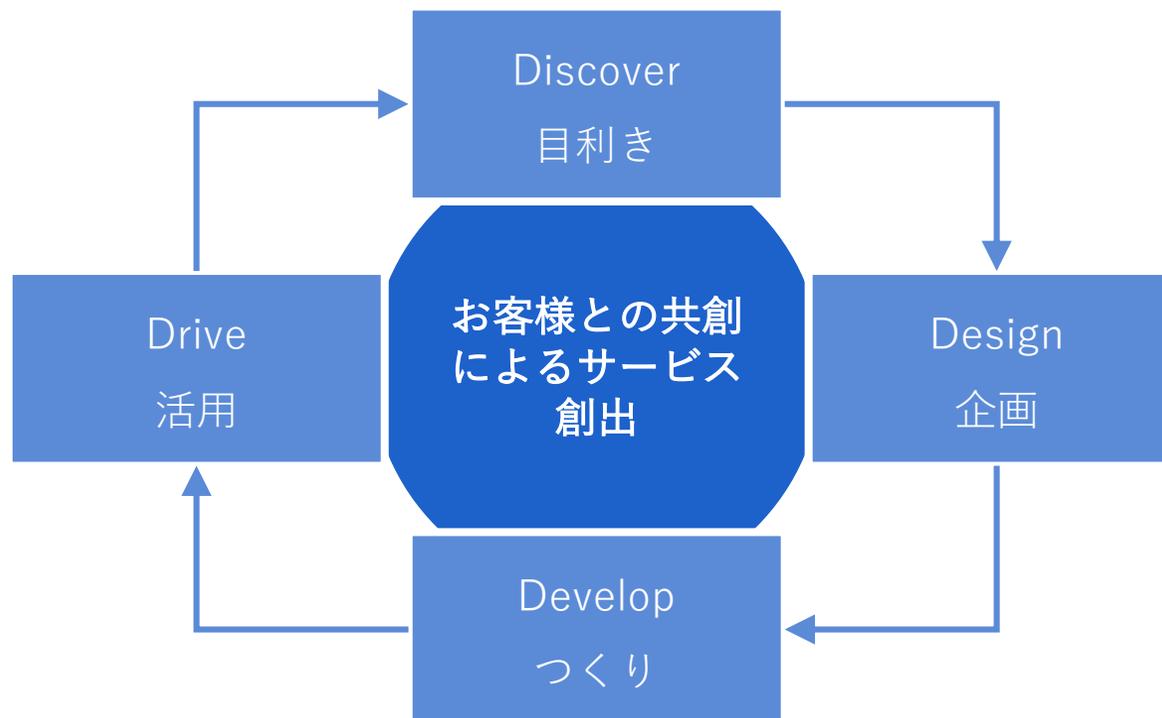
サービス創出に向けて

真に必要なサービスをつくるために「お客様との共創」を中心に置きます。

そして、価値提供のサイクルを回します。（NTTデータが考える「4D Value Cycle」というものです。）

業界動向・技術動向はもちろん、サービス活用の
フィードバックからも新規サービスを発見します。

共創したサービスは「汎化」して、
より多くの皆様へお届けします。
また、蓄積したデータを活用し、
さらなる付加価値を提供します。

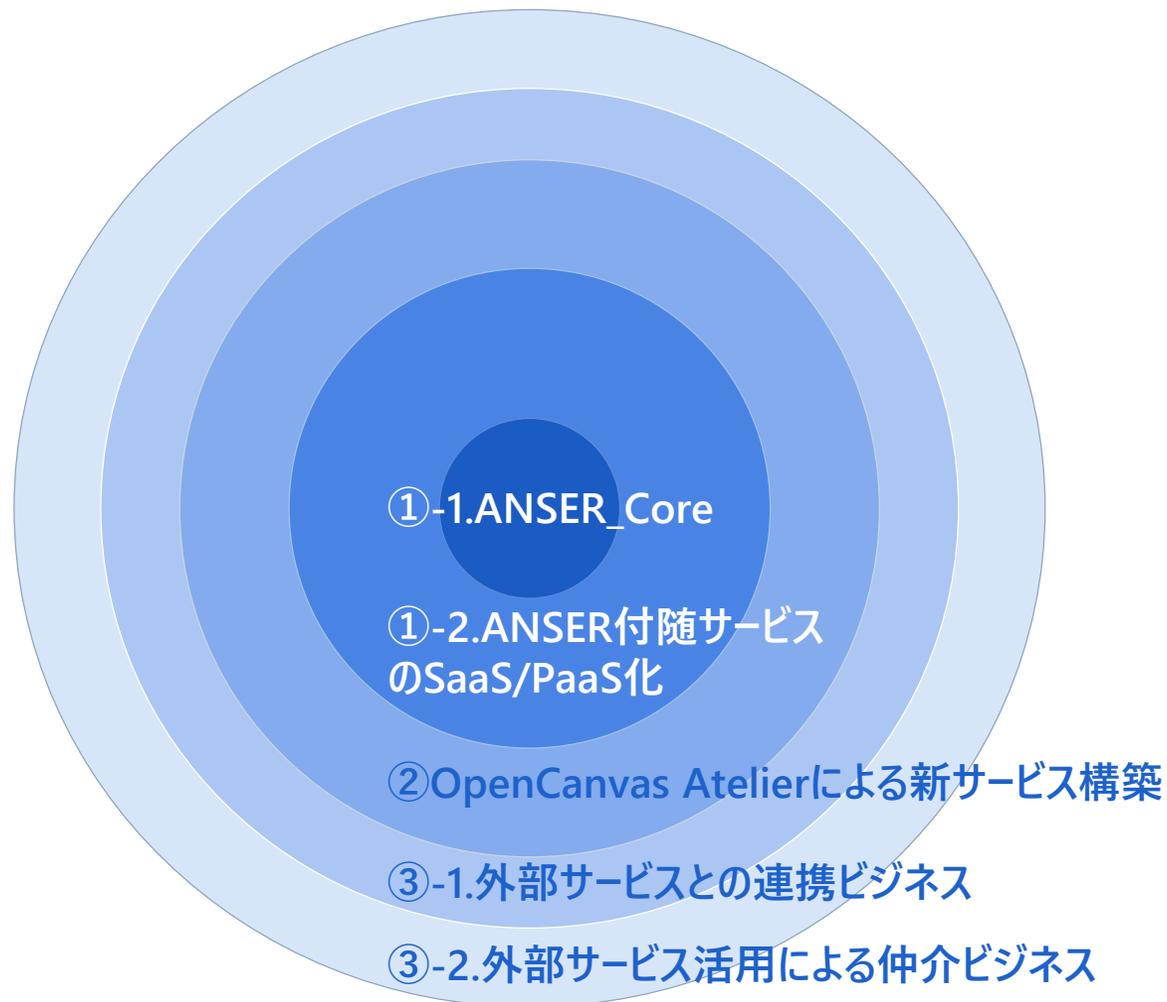


Agileプロセス、UI/UXプロセス、
マイクロサービスを活用して
素早くサービスをデザインします。

OpenCanvas Atelierのケイパビリティによって
アジリティ高くサービスを具現化します。

SaaS/PaaS 100サービス

お客様の困りごとを解決するために、「実践的かつ幅広いラインナップ」を揃えます。
「100サービス」のマイクロサービス（SaaS/PaaS）の創出を目指します。



①金融コアのマイクロサービスを創ります。

- ・ BizSQL/ParaSQL等をコアとしてSaaS/PaaS創出の軸に。
- ・ API管理基盤/ESB基盤などANSERで利用されている付随サービスをマイクロサービス化。

②ニーズ発掘して新サービスを創ります。

- ・ お客様との共創により新たなマイクロサービスを創出。
- ・ ANSERメディアとの連携や既存アセットの活用も視野にお客様にとって実践的なものへ。

③外部サービスも活用できるようにします。

- ・ マイナンバーやモバイルキャリアなど連携による新サービス。
- ・ OpenCanvasテナントやFintechなど、組み合わせ可能なサービスを幅広く仲介可能に。

-3-

お客様との共創に向けて

OpenCanvas Atelierのサービスラインナップ①

現在のOpenCanvas AtelierのSaaS/PaaSラインナップをご紹介します。このようなマイクロサービスを活用してお客様との共創を進めていきます。マイクロサービスは、継続して追加・拡張してまいります。

ColorFruit®

リモート営業ツールサービス

時間の制約なく、安心できるオンライン環境で、顧客・行員ともに納得できる金融機関取引を実現する商談支援サービス

クライアント証明書

高セキュリティ化のサービス

サービスに外部利用者がアクセスする際、証明書によって多要素認証や端末認証することでセキュリティ強化するサービス。

電子署名サービス

電子契約を実現するサービス

クライアント証明書の機能にて電子証明書を発行することで電子署名を可能とし、素早い電子契約を実現するサービス

API公開を実現するサービス

APIインターフェース/認証/アダプタや開発者ポータルなど、API公開に関わるオールインワンフルマネージドサービス

API管理基盤サービス

APIラインナップの展示サービス

API利用者側が各事業者の提供するAPIを見つけ出し、API仕様を確認し、申請を送ることを可能とするサービス

API Gallery®

デジタル融合基盤サービス

オープン系（デジタル）と勘定系（レガシー）を繋ぐ電文変換、ファイル転送、APIアダプタなどの基盤を提供するサービス

ESB基盤サービス

認証サービス

ユーザ認証のトータルサービス

エンドユーザを認証するための各種認証手法（電話番号、口座番号、CD暗証番号）を備えたサービス

対面相談予約サービス

顧客と担当者を繋ぐ営業ツール

金融機関様アプリやホームページからブラウザ接続して、利用者が来店予約をおこない、金融機関担当者で繋ぐサービス

不正検知サービス

セキュリティモニタリングサービス

資金移動サービス提供事業者様のシステムと連携し、不正の可能性がある取引を自動検知して通知するサービス

OpenCanvas Atelierのサービスラインナップ②

現在のOpenCanvas AtelierのSaaS/PaaSラインナップをご紹介します。このようなマイクロサービスを活用してお客様との共創を進めていきます。マイクロサービスは、継続して追加・拡張してまいります。

マイナンバーカードサービス

マイナンバーカード関連サービス

マイナンバーカードを活用した本人認証、届出情報確認自動化及びマイナンバーカードの収集を可能とするサービス

イントロスペクション (API) AnserParaSOL

Anser認証でAPI利用を可能にするサービス

AnserParaSOLご利用企業様がParaSOL認証を行うことでParaSOL以外のAPI利用を可能とするサービス

イントロスペクション (API) AnserBizSQL

Anser認証でAPI利用を可能にするサービス

AnserBizSQLご利用企業様がBizSQL認証を行うことでBizSQL以外のAPI利用を可能とするサービス

多要素認証を実現するサービス

ソーシャルログインからOIDC/SAMLを活用した外部連携迄、多要素認証を実現可能とするサービス

IDaaS

マルチバンク接続サービス

企業会計システム等と連携し、企業が保有する金融機関口座をマルチバンクで接続するサービス

EBNest2DX For server

顧客通知サービス

メール/SMS/プッシュ通知を送信可能とするOCVテナント様向けサービス

顧客通知サービス ※OCVテナント向け

共創のケーススタディ①

例えばこのように、お客様との共創によって、困りごとを解決します。



**Case 1
Remote
Communication**

顧客訪問にかかる移動時間、
コロナ禍の接点減に対して
リモート営業ツールを導入。
さらには電子署名を活用して
融資業務等の非対面完結へ



お客様との共創

法人営業のユースケースや企業様の顧客体験から目利きして、非対面のコミュニケーションや電子契約による体験・価値をデザイン。



高アジリティの実現

サービスラインナップからColorFruitや電子署名を組み合わせ。開発環境などのアセットを活用して、スピーディーにサービス提供。



ANSERとのシナジー

法人ポータルと認証連携することでシームレスな動線で利用可能に。企業様により使ってもらい易く、金融機関様にも価値あるサービスへ。

共創のケーススタディ②

社会や地域についても、お客様との共創によって、価値提供していきます。



お客様との共創

金融機関様ごとの特性や地域に合わせて、自治体や企業との連携を共創。
例えばマイナンバー連携による手続き簡略化や地域サービスの提供。



高アジリティの実現

マイナンバーとの連携など3rdPartyも活用しつつ、スピード感ある繰り返しをおこない、新しいサービスを形作っていく取り組み。



ANSERとのシナジー

個人向けインターネットバンキングやスマホアプリの顧客基盤を活用することで、多くの利用者様へスピーディーにサービス提供。

OpenCanvas Atelier 取り組み詳細

大規模アジャイルとして実績が高いフレームワーク「SAFe（Scaled Agile Framework®）」を適用し、既にプロダクトを提供済。



DATA INSIGHTにて、OpenCanvas Atelierの取り組みを紹介。

『組織的な大規模アジャイルによる新規金融サービスの価値創出』 <https://www.nttdata.com/jp/ja/data-insight/2022/0301/>



YouTubeにて
紹介動画公開中



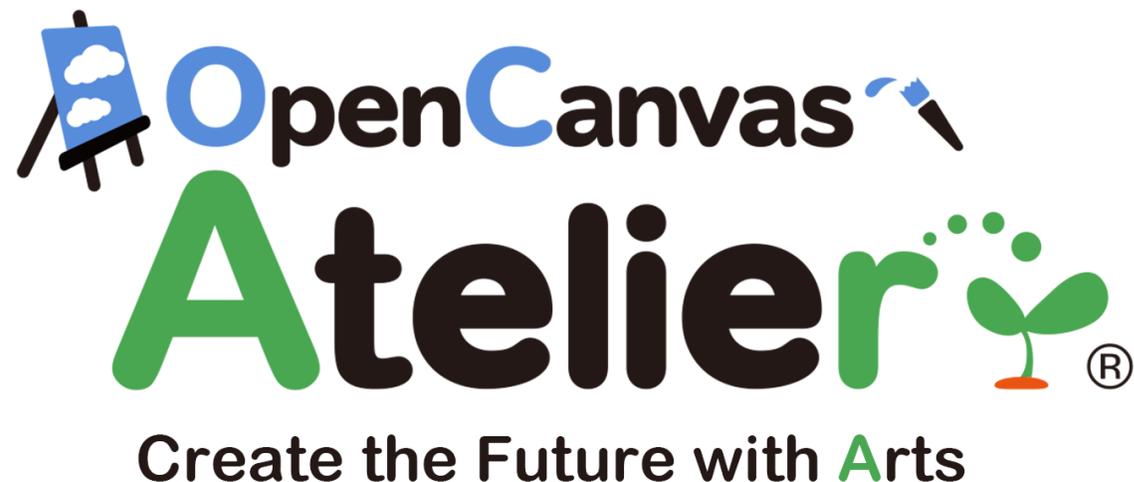
Colorfluit



API Gallery

最後に ～OpenCanvas Atelierの想い～

私たちは金融機関様との共創により、高度な金融マイクロサービスの創発に取り組んでまいります！
ぜひお客様の困りごとを解決して、お役に立たせてください！



※9/27.28のSAFeイベントの様子



お問い合わせ

第三金融事業本部

e-ビジネス事業部 デジタル戦略室



ご興味を持っていただいたら、困りごとありましたら
ぜひお問い合わせください！

OpenCanvas Atelierについては、
まずは弊社の営業担当者へご連絡ください。